

# 火曜会通信

発行日：平成11年7月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

&lt;特別寄稿&gt;

## 「文化財ボランティアの会」 結成のいきさつ

伊丹市教育委員会

小長谷 正治

文化財ボランティアの会が結成されて4月で3周年を迎えました。年を追って会員も増え、益々活発な活動が展開されていますことに、会の結成に立ち会った一人として、心よりお慶び申し上げます。振り返って、文化財ボランティアの会結成に至る経緯について、少しお話しておきたいと思います。

「文化財で何かボランティアはできないの」と私に言ったのは、当時の生涯学習の上司です。平成5年のことと記憶しています。その時は、適当に話を返してそのままとなっていたが、頭の片隅には残っていました。文化財とボランティアがすぐに結び付かなかったのです。

その翌年のことだったか、家族で山口県の萩を訪れた時のこと、吉田松陰の旧宅を外からのぞき込むように見ていたら、「説明しましょうか」と横から声をかけられました。振り向くと、腕に腕章を付けた初老の男の人が立っていました。腕章に何が書かれていたか今では覚えていません。無料で案内してくれるのだな、と思い、「お願ひします」と答えました。その人の話は、小さな声で始まりました。控えめであるが、真面目な口調で誠実さが伝わり、良い印象が残っています。

その年の暮れ、「文化財でボランティアがやれないか」と、再び声をかけられました。先ほどの上司とは別の人。そして、翌年度予算に「文化財ボランティア養成講座」の費用を要求することにしました。ヒントは萩のガイドボランティアです。

### 主な行事予定（8月から10月）

#### ◇ 定例会

- |           |                 |            |
|-----------|-----------------|------------|
| 8月10日(火)  | 特別講座「環境問題」について  | 中央公民館      |
| 9月14日(火)  | 市外研修「豊中の史跡めぐり」  | 阪急豊中駅改札口集合 |
| 10月12日(火) | 市外研修「西宮市郷土資料館他」 | 阪急伊丹駅改札口集合 |

#### ◇ 分科会「伊丹の街道」グループ

- |           |               |               |
|-----------|---------------|---------------|
| 8月24日(火)  | 「池尻から西野土地改良碑」 | 市バス池尻六丁目停留所集合 |
| 9月28日(火)  | 「辻の碑から大鹿道標」   | 市バス辻村停留所集合    |
| 10月26日(火) | 「安楽院から稻野小学校」  | 市バス市役所前停留所集合  |

#### ◇ 分科会「村の歴史」グループ

- |           |                 |       |
|-----------|-----------------|-------|
| 9月21日(火)  | 研究発表「未定」7/13に決定 | 中央公民館 |
| 10月19日(火) | 研究発表「西野村」について   | 中央公民館 |

所在地は武庫川左岸、同支流の天王寺川下流域をいう。地名の由来は、天平年間（8世紀頃）行基が築造した昆陽下池の閘門尻にあたる所からこの地名がついたといわれる。

（川辺郡誌）昆陽下池は慶長13年（1608）に埋立てられたが、地形や古絵図からの復元や、西野字下池の入江などの地名により、その範囲を推定することができ前説を裏付けることができる。

### 沿革

池尻村は慶長年間から幕府領（大和國小泉藩預り）であった。元和3年（1617）には伊予国大洲藩（愛媛県大洲市）となるが、安永9年（1780）からまた幕府領（大洲藩預り地）となった。明治2年には版籍奉還が行なわれ、翌年兵庫県川辺郡池尻村となつた。

明治22年に市制町村制が施行され、旧稻野村に編入された。昭和15年には旧伊丹町と旧稻野村が合併して伊丹市が誕生し、池尻という大字名となつた。昭和56年に町名変更により、現在の池尻は伊丹市の町名で1丁目～7丁目となつた。

### 神社

春日神社は僧行基が天平年間に伊丹を開発し、治水のために造ったと伝えられる昆陽下池鎮護の宮として市杵嶋姫命を祀り、またそれに従つた池尻の衆族が氏神である春日大神を奉斎した三ヶ所の春日社が、当神社の始まりであるといわれる。（社伝より）

池尻の里人は敬神崇祖の念篤い土地柄で、各氏ごとに講社を保持し、同時に春日大神を氏神として村内に三社の春日神社を奉斎していた。

昭和25年上井尻春日神社二社の氏子と村北春日神社氏子が合併し、社殿造営の議がもちあがり、昭和51年に造営に着手、昭和53年4月に竣工した。旧本殿は権殿として残置し、村北春日神社跡地には、末社の市杵嶋姫社が奉斎されている。

### 寺院

大雄山最禪寺は元禄5年の寺社着込帳（池尻区有文書）によれば、はじめ最福寺といわれた。明暦年間には真言宗高野山の僧が、天和年間には浄土宗の愚願が住職をつとめていた。元禄5年当時は播磨國網干（姫路市）臨済宗龍門寺の盤珪禪師の弟子で聖瑞という禪僧が住職となっていた。同年伊予国大洲の富士山如法寺の末寺となり、寺号を最禪寺と改めた。幕末に至って臨済宗妙心派から曹洞宗天桂派の禪寺に変わり、現在は大阪府池田市陽松庵の末寺である。（以下次号「水利と争い」につづく）



## 春期研修旅行 「但馬の小京都 城下町出石を訪ねて」 山内 富美子

平成11年5月18日、さわやかな5月の風を受けながら、伊丹市役所前を出発した私達文化財ボランティアの会員約40名を乗せたバスは、但馬の小京都・出石へと向かいました。

新緑萌える山間の道をひたすら出石へと走りつづけるバスの窓から外を眺めていると、青葉、若葉の中で森林浴をしているかのような気分さえ味わい、快適な旅となりました。

出石に着くと早速「出石まちづくり公社」の堀川妙子さんの案内で、約2時間のモデルコースに従って長い歴史を刻んだ町並みや史跡名所を廻りました。

出石探訪の出発点は、出石町庁舎です。庁舎は元弘道小学校のあった所で建物には長い校舎の面影を漂わせて設計してあります。また前庭には、出石の町の花である“てっせん”が今を盛りと紫色やピンク色の花を咲かせていました。

まずは、出石城趾の中にある諸杉神社、次は157段の石段に37の朱の鳥居が並んでいる稲荷参道、ここではテレビドラマのロケがしばしば行なわれたとの説明でした。なるほど緑に包まれた落ちついた景色とあざやかな朱色のコントラストが美しい絵になる風景でした。

城跡の中には、“憲政の神様”と崇められ、又、小柄な風采から“ねずみの殿様”と親しまれた齋藤隆夫先生の碑があり、ここを竹下元總理が訪れた時の様子を眼のあたりにするように描写してくれました。

出石城については1604年に小出吉英が山頂より移築して以来明治まで、小出、松平、仙石氏と城主が変わり、とくに1706年に仙石越前守政明が城主となった後

260余年にわたり出石藩五万八千石の本城となって栄えました。

現在は本丸、二の丸、三の丸の石垣のみが残り隅櫓が復元されています。

次は家老屋敷です。江戸時代の三大お家騒動の一つ「仙石騒動」の首謀者とされた仙石左京の屋敷跡である家老屋敷は、白壁の築地塀と長屋門が江戸情緒を感じさせ、内部には隠し二階があるほか、大名列の諸道具が展示されています。「仙石左京は処刑されましたが、彼の行動を歴史は見直す必要があるのではないか」と堀川さんは話されておりました。

次に訪れた史跡は勤王の志士桂小五郎潜居跡です。ここには明治維新の立て役者・桂小五郎が幕末、新撰組に追わられて、幾松夫人と共に潜んでいました。その潜伏していた家は、火事で焼けたとかで残っていませんが、住居跡に記念碑が残されています。

その他出石藩の史料、藩主の武具、領地目録など展示してある町立資料館、茶色のどっしりとした土壁から歴史の重みが伝わる酒蔵、最後の案内場所は、出石のシンボル辰鼓櫓です。

このように出石探訪も楽しく無事終わりましたが、何といっても一番光っていたのは、堀川妙子さんの軽妙な話術で興味をそそられる素晴らしいガイドぶりでした。

出石史跡の研修とともに私達に是非必要なガイドのコツを学ぶのに最適な機会となった研修旅行でした。

最後になりましたが、お世話になりました市教委をはじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

#### 〈ワンポイント講座〉

## □ 仏像の見分け方 □

仏像はお経のなかの仏を、分り易いようにビジュアル化したものです。バリエーション豊かですが、元はたったの4種類です。変身したり、仲間がいたりするだけです。仏像界の基本は、如来像・菩薩像・明王像・天部像の4グループです。

◆如來像◆

如は悟り、來は到達の意味で、修行して悟りを開いた者を如来といい、菩薩、明王、天部を率いる最高の位にあります。修行して悟りを開いた如来の像は、装身具や宝冠をつけず簡素な姿をしています。釈迦如来・薬師如来・阿弥陀如来・盧舎那仏・大日如来・弥勒仏があります。

◆ 舟山像 ◆

菩薩は、如来の境地に達しようと修行し、努力している姿であり如来につぐ位を与えられています。人間がついていけるように、やさしく、頭に髪を結い上げ飾りをつけ素晴らしい貴人の姿で表現されています。觀音菩薩・地藏菩薩などがあります。

### ＜お知らせコーナー＞

## □ 市内史跡・文化財ガイドの記録

ご要望のコースを文化財ボランティア（火曜会）の方々が案内いたしました。

- ① 実施日 ② グループ名 ③ 人数 ④ ガイドヨース ⑤ 火曜会メンバー

- ① 5月13日 ② 中野昭友会 ③ 15名

- ④ 有岡城跡→猪名野神社→發音寺→和泉式部の墓→計の碑→暨岡天満宮→緑が丘公園

- ⑤ 東さん・寺谷さん・渡邊さん・平松さん

- ① 6月1日 ② 川西市生涯学習大学日本史学科（中世史）QB ③ 15名

- ④ 鶴頭冢古墳→須佐鬼神社→鷦鷯→有畠城跡→岡田家住宅→猪名野神社

- ### ⑤ 板根さん・治井さん

□ 分科会リーダー・サブリーダーが決まりました。

## 「伊丹の街道」グループ

リーダー 松本さん

サブリーダー 山本さん・瀧口さん

### 「村の歴史」グループ

治基さん

西口さん・吉谷さん

紫陽花の藍をきそ  
いて  
さわさわと窓ゆ

辰鼓櫓、仙石、町屋  
エトセトラ ガイド  
小百合の口なめらかに  
して

吹き溜まる塊の  
ごとくにちんまりと  
三本松の梅女のみ善

土地に人に惚れて  
あなたの後を歩く  
伊丹城下酒におう郷

難波  
寿美

投稿コ一ナ

編集後記 第2号が期日どうりお届けできること嬉しく思います。これも原稿を提供頂いたおかげで書き継ぎ第3号4号にむすべます。またご協力をお願ひ申します。